朝日新聞
発行所 東京都中央区築地5丁目3番2号 郵便番号104-11
朝日新聞東京本社
電話 03-545-0131
郵便振替口座 東京0-1730
©朝日新聞東京本社 1988

酒王 千福 一杯いかがです
日本酒で乾杯
〈広島〉 醸三宅本店

霊感商法

統一教会の存在推認

日弁連、販売網調べ意見書

「組織性明確」と結論

「霊感商法のたたりがある」などと不安がらせ、印鑑やつぼなどを売りつける「霊感商法」の実態などについて調べていた日本弁護士連合会（日弁連、北山六郎会長）は十八日、「霊感商法被害実態とその対策について」と題する意見書をまとめ、公表した。昨年七月に続いての二回目の調査報告で、今回は、匹敵県全手続きをとって得た「霊感商法」の販売組織の内部資料などから、組織に体性がさらに強まったとして、「販売業者側の背後に統一教会の存在が推認される」と述べている。意見書はまた、全国各地で「霊感商法」を応援する組織を作り、「霊石愛好会」の巡礼舞台に献金方法による新しい被害の発生なども指摘、政府に抜本的な改正を強く求めている。

（社会面に関連記事）

意見書によると、つぼや数珠などの輸入を国の業者が「販売を生きる販売を自殺する」などの文書で昨年四月に通達者などに出したあとも被害が続き、とくに三月までに弁護士会を通じてわかっただけで、被害者四十八人、被害総額約一億七千万円にのぼっている。

国民生活センター、都道府県消費生活センターにも同月までに報告（さらに）件が寄せられていることを明らかにした。

今回の意見書では、五十五年から昨年四月までの被害総額は三百十七億円だった。

意見書は、つぼや数珠、ニンジン製品などの輸入元の株式会社「ハッピーワールド」やわかった「ハッピーワールド」や倒産、不明販売会社が一体となって組織的に「霊感商法」の販売網を作り、「霊石愛好会」などを通じて、「霊感商法」を応援する組織

遺留品 地道に

なぜ静岡か

平塚・西塚・名古屋・静岡以前の一連の朝日新聞襲撃事件は、事件に関連した「赤報隊」の逃亡ルートの始点だった。「西宮」の郷土・根岸三郎氏が書いた「赤報隊」は、その後、関西へ逃亡したが、歴史四年（一八六八）三月三日に「偽官軍」として、信州で処刑された。こうした経緯から、捜査当局は、歴史上の「赤報隊」のルートからはずれた、との見方を強めている。

一次の犯行は静岡近辺、との見方もあり、処刑日を中心に警戒を強めていた。ところが、時限爆弾を仕掛けた午四の犯行は、静岡。捜査当局は、歴史上の「赤報隊」のルートからはずれた、との見方を強めている。

乗・雄新聞の所在地が静岡市内の繁華・商州大戦争による

情報の提供を市民に呼びかける看板を、本社静岡支局前に立てる静岡中央署捜査本部員 ＝18日、静岡市追手町で

「販売会社」に多数の信者

霊感商法と統一教会 日弁連意見書

「関与」の根拠を示す

西本願寺が霊感商法批判

全国に支部配布

来年一万カ寺のマンモス教団、浄土真宗本願寺派（本山・西本願寺＝京都市下京区）が霊感商法を批判する内部文書を作成し、全国に配布されていたことがわかった。

同派教務部が昨年十月に発行した「宗務情報」百十四号・週刊誌サイズ三十四ページ の小冊子で、「霊感商法被害救済担当弁護士連絡会」や、同商法を追及している「霊感商法に見え隠れしている統一教会」、そのかわりを正面から日弁連が士連合会に提出された、統一教会は、霊感商法への組織的な関与を否定しているが、今回の日弁連「意見書」は、具体的にいくつかの根拠を提示している。意見書から抜粋すると―

〈統一教会の教祖文鮮明夫妻の「祝福」により合同結婚をあげた同教会の中心的信者であることが判明していると、物が、教会、国元・そして家族販売会社の社員に多数存在する。特に韓人元・国元の各会社は企業の役員や販売会社の役員、合同結婚式は、統一教会にとって、最も正要な儀式のひとつ。霊感商法にかかわっている企業の役員や販売会社の役員は、統一教会のケースをとりあげ、韓人元の投資→国元の投資→他の国元の投資▽販売会社の投資→国元の交流関係広島の販売会社の関係人、などを例示している。合同結婚式を挙げた夫が国元の役員で、妻が同じ時期に同じ地域の販売会社の幹部役員、との例も多くある。

意見書によると、つぼや金塔の韓人元の「ハッピーワールド」、全国で八カ所の国元のほかに、百十二の販売会社が明らかになっている。韓人元・統一教会の関係者が、合同結婚式を挙げた夫が国元の役員で、妻が同じ時期に同じ地域の販売会社の幹部役員、などを例示している。

合同結婚式を挙げた夫が国元の役員で、妻が同じ時期に同じ地域の販売会社の幹部役員、などを例示している。

霊感商法については「原始的な金銭関係」宗教イコール現世利益の見方が強い分野、迷信商業はあの手この手で「教祖を風呂（ぐろう）し続けるなら」などとしている。

霊感商法に対する国際の見解に発表した四編からの抜粋。

霊感商法に対するインターナショナルの見解

霊感商法に見え隠れしている統一教会、そのかわりを正面から日弁連が士連合会に提出された、統一教会は、霊感商法への組織的な関与を否定しているが、今回の日弁連「意見書」は、具体的にいくつかの根拠を提示している。意見書から抜粋すると―

〈統一教会の教祖文鮮明夫妻の「祝福」により合同結婚をあげた同教会の中心的信者であることが判明していると、物が、教会、国元・そして家族販売会社の社員に多数存在する。特に韓人元・国元の各会社は企業の役員や販売会社の役員、合同結婚式は、統一教会にとって、最も正要な儀式のひとつ。霊感商法にかかわっている企業の役員や販売会社の役員は、統一教会のケースをとりあげ、韓人元の投資→国元の投資→他の国元の投資▽販売会社の投資→国元の交流関係広島の販売会社の関係人、などを例示している。

合同結婚式を挙げた夫が国元の役員で、妻が同じ時期に同じ地域の販売会社の幹部役員、などを例示している。

意見書によると、つぼや金塔の韓人元の「ハッピーワールド」、全国で八カ所の国元のほかに、百十二の販売会社が明らかになっている。韓人元・統一教会の関係者が、